

国際交流奨励賞・日本語教育賞

中国日本語教学研究会

〔中国〕

スーヅウガオ
宿久高氏

中国日本語教学研究会会長 吉林大学外国语学院長

このような栄えある賞を授与してくださったジャパンフアウンデーションに対し、心より感謝の気持ちを表したいと思います。この受賞は、中国の諸大学において日本語教育・日本研究に携わっている4000人近い日本語教師にとって、大いなる名誉であります。

中国日本語教学研究会は、中国の諸大学における日本語教師の統括的組織として1982年10月に発足しました。20年もの間、中国教育部のご指導、各大学のご支持、そしてジャパンフアウンデーションの長年にわたる多大なるご支援をいただきながら、研究会は指導力を発揮し、いろいろな問題を抱えながらもそれを解決し、中国全土の日本語教育、日本研究の質の向上と国際交流に努めてまいりました。その努力と実績をこのような形で認めていただいたことを誇りに思い、謹んで栄誉をお受けいたします。

はなはだ僣越ながら、私ごとについて少し申しあげます。私は大学を卒業

してから30年、ずっと日本語教育という畑で働いてまいりました。日本語を教え、若き学生諸君に日本文化を紹介し、理解してもらおうことで喜びを感じ、人生の生きがいを感じました。30年間日本語を教えるなかで、日本語は書き言葉である文字であるうと、話し言葉である音声であるうと、いずれもただの形式でしかなく、その形式を支える日本文化、つまりその形式を自由に操

る主である日本人の歴史や文化、思考様式、行動様式こそが日本語の魂であり、一番大事な存在だと痛感いたしました。中日両国は2000年もの文化の相互理解からはじめなければならぬと思います。

このたびの受賞を大きな励みとし、中国の大学における日本語教育の質の向上に努め、日本語を教えることを通じて中日友好の将来を支える若い担い手を養成し、中国と日本の友好交流と相互理解を深め、東アジアに広がる日本語教育分野のさらなる連携強化に励む新たな一歩にしたいと考えます。

何回も日本の美しい大地に足を踏み入れたことのある私ではありますが、このたび日本で賞を頂くことを特にうれしく思います。ジャパンフアウンデーションが世界の日本語教育、文化交流の面において、さらに大きな役割を果たすことを心より祈念し、あいさついたします。ありがとうございます。

（原文は日本語）



中国の諸大学における日本語教師の統括的組織として指導力を発揮し、日本語教育の質の向上に貢献してきた実績を称え、東アジアに広がる日本語教育分野のさらなる連携強化における役割を期待して、国際交流奨励賞・日本語教育賞を贈った。